

現状・課題

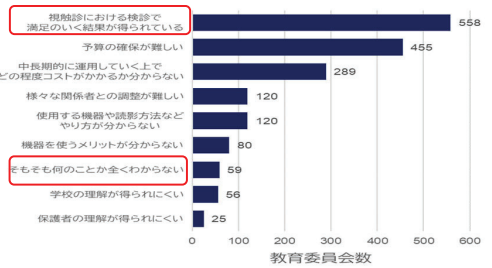
- 学校の健康診断における、より正確な脊柱側弯症検診の導入は、喫緊の課題である。
※成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針（令和5年3月22日閣議決定）等
- 脊柱の検査については、現在、一部の教育委員会では、より正確で早期発見に資する専用の検査機器を用いた検査が導入されているが、多くは視触診による検査が行われている。
- 検査機器未導入教育委員会の多くは、「視触診における検診で満足いく結果が得られている」と回答しているほか、「そもそも何のことが全くわからない」といった回答も見られる。
- このため、教育行政関係者や教職員等に対して、検査機器を用いた脊柱の検査の意義や脊柱側弯症等の喫緊の疾病の課題について、広く理解を進めることが必要である。

検査機器を用いた脊柱側弯症検診の児童生徒等へのメリット

- 客観的根拠に基づく、より正確で、均質な検査の提供
- デンタルデータによる経年比較
- 早期発見・治療による負担軽減 などの効果が見込まれている。



今後の導入予定がない理由（N＝827教育委員会）※複数回答あり

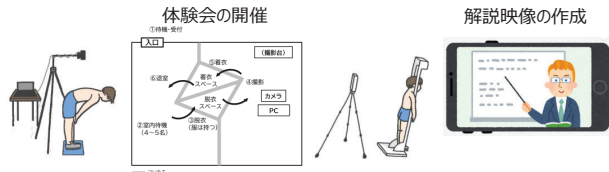
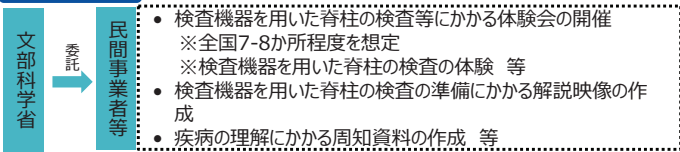


出典：令和4年度脊柱側弯症検診に関する調査研究事業報告書

事業内容

脊柱の検査の意義や脊柱側弯症等の疾病への理解等が教育現場において着実に進むよう、教育行政関係者や教職員等を対象に、検査機器を用いた脊柱の検査等にかかる体験会の開催・周知資料の作成等を行う。

事業スキーム



アウトプット（活動目標）

- ・検査機器を用いた脊柱の検査等にかかる体験会の開催
- ・喫緊の疾病の理解にかかる周知資料の作成

短期アウトカム（成果目標）

- ・検査機器を用いた脊柱の検査を実施する自治体（R4年度139）の増加
- ・児童生徒の喫緊の疾病の課題への理解

長期アウトカム（成果目標）

- ・検査機器を用いた脊柱の検査等の実施により、早期発見・早期受診が促進されることを通じた、児童生徒の学校生活における安全・安心の確保

（担当：初等中等教育局健康教育・食育課）

令和7年度 検査機器を用いた脊柱の検査等に関する体験会

（令和7年6月時点）

開催日時	開催地	会場
7月29日（火） 12:30～16:30	川崎市	川崎市コンベンションホール ホールC
8月4日（月） 12:30～16:30	岡山県	ピュアリティまきび 千鳥
8月7日（木） 12:30～16:30	北海道・札幌市	TKP札幌駅カンファレンスセンター ホール3B
9月4日（木） 12:30～16:30	香川県	あなぶきアリーナ香川 会議室2
9月11日（木） 12:30～16:30	宮城県	東京エレクトロンホール宮城 601大会議室
10月6日（月） 12:30～16:30	和歌山県	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 展示ホール
12月26日（金） 12:30～16:30	群馬県	ビエント高崎
調整中	埼玉県	調整中

